

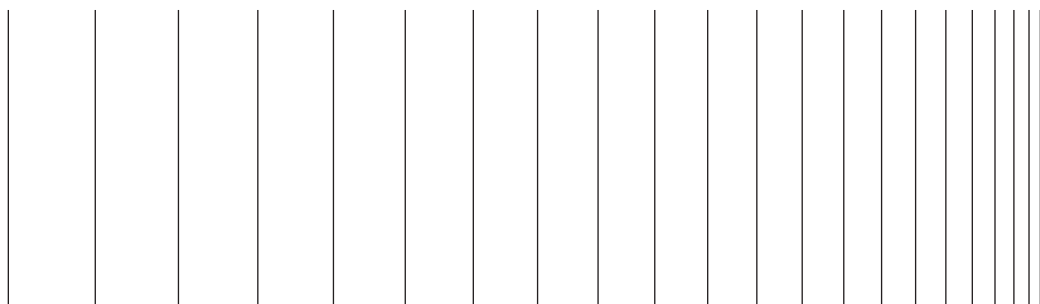


日立産業用コンピュータ

HF-W6500モデル35/30

セットアップガイド

(Windows Server® 2003編)



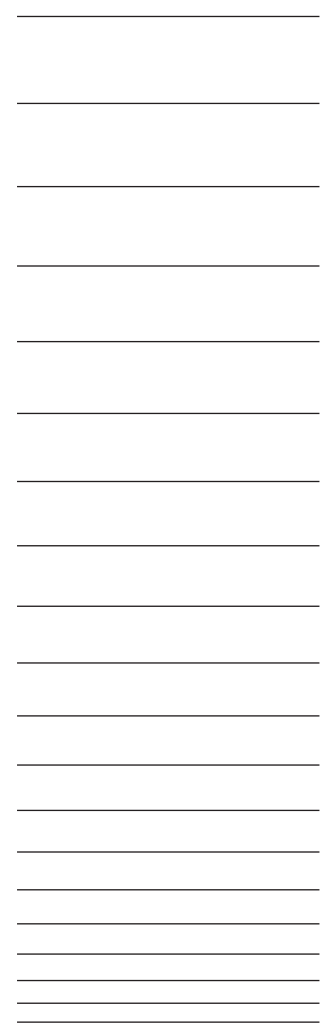
ユーザーズ
マニュアル

日立産業用コンピュータ

HF-W6500モデル35/30

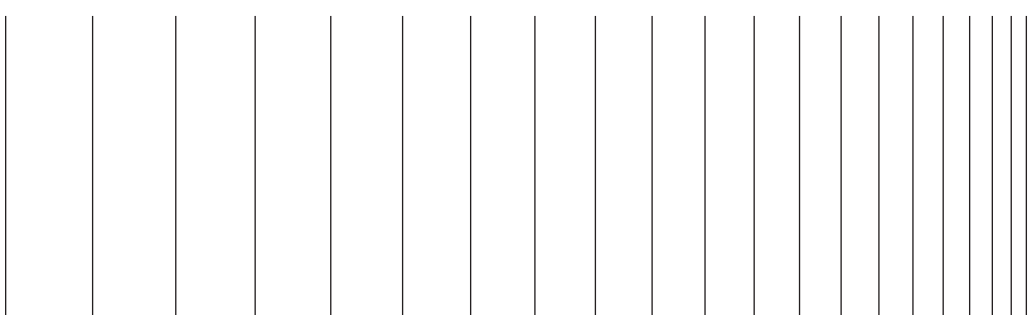
セットアップガイド

(Windows Server® 2003編)



マニュアルをよく読み、保管してください。

- ・ 操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・ このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。



ユーザーズ
マニュアル

この製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

2009年 3月 (第1版) WIN-3-0070

- このマニュアルの一部または全部を無断で転写したり複製したりすることは、固くお断りいたします。
- このマニュアルの内容を、改良のため予告なしに変更することがあります。



安全にお取り扱いいただくために

装置を操作する前に、以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って操作してください。
- 装置やマニュアルに表示されている安全に関する注意事項は特に注意を払い、必ず守ってください。
これを怠ると、人身上の傷害や装置を含む財産の破損を引き起こす恐れがあります。
- 安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「危険」、「警告」、「注意」、および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルの後に続く安全に関するメッセージに従ってください。



危 険：死亡または重大な傷害を引き起こす可能性が高い差し迫った危険の存在を示すのに用いられます。



警 告：死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。



注 意：軽度の傷害または中程度の傷害を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。

通 知：これは、装置の重大な損傷または周囲の財物の損害（データの喪失を含む）を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。また、使用上のアドバイスに用いられます。

なお、「留意事項」という見出し語は、人身の安全と直接関係しない注意書きを示すのに用いられます。

- マニュアルに記載されている以外の操作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、保守員をお呼びください。
- 装置を操作する前に、このマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。
- このマニュアルは、必要なときすぐ参照できるように、使いやすい場所に保管してください。
- 装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。



安全にお取り扱いいただくために（続き）

1. 共通的な注意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

1. 1 警告または 注意

- この装置は、人命に直接関わる安全性を要求されるシステムに適用する目的で製造されたものではありません。このような用途に使用する可能性がある場合には、弊社営業窓口へ相談してください。
- 万一、発煙・異臭などがあった場合は、装置背面の主電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、お買い求め先または保守員に連絡してください。故障状態のままお使いになると火災や感電の原因になります。
- この装置の前面および背面には、吸排気孔のためのスペースを必ず確保してください。温度上昇による故障または短寿命の原因になります。また、保守作業のための保守スペースが必要です。
- この装置は磁気ディスク装置を内蔵していますので、打撃、衝撃、振動を与えないよう取り扱いってください。万一、この装置を落したりケースを破損した場合は、装置背面の主電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、保守員に連絡してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。また、開梱時および持ち運ぶ時は衝撃を与えないでください。故障の原因になります。梱包状態または開梱時の移動には、指をはさんだり、ぶついたりしないように注意してください。
- この装置が万一故障したり誤動作やプログラムに欠陥があった場合でも、ご使用されるシステムの安全が十分に確保されるよう、保護・安全回路は外部に設け、人身事故・重大な災害に対する安全対策などが十分確保できるようなシステム設計とってください。



安全にお取り扱いいただくために（続き）

1. 2 通知

- 弊社（情報制御システム事業部）指定の基本ソフトウェアを使用してください。それ以外の基本ソフトウェアを使用した場合の動作は、保証できません。
- この装置の設置環境は一般事務室レベルです。じんあいの多い所や、腐食性ガスのある環境での使用は避けてください。故障の原因になります。
- 非常遮断（シャットダウンしないで、いきなり電源を切ったり、ブレーカを切ったりすること）をすると、処理プログラムによってはジャーナル情報の喪失によってシステムプログラムの再ローディングが必要になることがあります。何らかの異常が発生し緊急に遮断しなければならないとき以外は、絶対に実施しないでください。
- 電源の供給元で電源を遮断した場合、システムを自動で復旧できないことがありますので、注意してください。
- ディスクへのアクセス終了後は、ディスクをDVDドライブから取り出してください。DVDドライブ内へ放置すると、障害の原因となります。
- ディスクトレイを出したままにしておくと障害の原因となります。使わないときは、ディスクトレイをDVDドライブに収納しておいてください。

はじめに

このマニュアルは、日立産業用コンピュータHF-W6500モデル35/30（Windows Server® 2003モデル）のセットアップ手順について記述したものです。

このマニュアルは、次のような構成となっています。

第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順

第2章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

第3章 注意事項

注 意

この装置は障害の種類によって、大切なファイルを喪失することがあります。また、装置の障害だけでなく、使用中の停電、誤操作などによってファイルを喪失することがあります。このような状態になった場合には、ファイルの回復はできません。そのような事態に備えて日常業務の中にファイルのセーブ作業を組み入れ、計画的にファイルのバックアップを取っておいてください。

<記憶容量の計算値についての注意>

- 2ⁿ計算値の場合（メモリ容量・所要量、ファイル容量・所要量など）

1KB（キロバイト）＝1,024バイトの計算値です。

1MB（メガバイト）＝1,048,576バイトの計算値です。

1GB（ギガバイト）＝1,073,741,824バイトの計算値です。

- 10ⁿ計算値の場合（ディスク容量など）

1KB（キロバイト）＝1,000バイトの計算値です。


1MB（メガバイト）＝1,000²バイトの計算値です。

1GB（ギガバイト）＝1,000³バイトの計算値です。

<商標について>

- ・ Microsoft®, Windows®, Windows Server®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ 上記以外にこのマニュアルに記載されている他社製品名（ソフトウェア、ハードウェア）は、各社の登録商標、商標、または商品です。

目次

 安全にお取り扱いいただくために	S-1
第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順	1-1
1. 1 セットアップ手順の概要	1-2
1. 2 セットアップの準備	1-3
1. 3 Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのセットアップ	1-4
1. 4 画面サイズの設定	1-6
1. 5 ネットワーク環境の設定	1-7
1. 6 ハードディスクの空き領域のフォーマット	1-9
1. 7 新しくコンポーネントを追加する場合の検索場所入力について	1-12
第2章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順	2-1
2. 1 新規セットアップ手順の概要	2-1
2. 2 セットアップの準備	2-3
2. 3 システムディスクの出荷状態への復元	2-4
2. 4 Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、ドライバなどの各種セットアップ	2-8
第3章 注意事項	3-1
3. 1 第3者ブランド名での製品出荷について	3-1
3. 2 HITACHIディレクトリについて	3-1

第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順

この章では、以下のセットアップ手順について説明します。

- HF-Wを購入して初めて電源を投入した場合のセットアップ手順

留意事項

このマニュアルで使用する用語について、以下のとおり定義します。

セットアップ：ソフトウェアがコンピュータで使用できるように環境を設定することです。

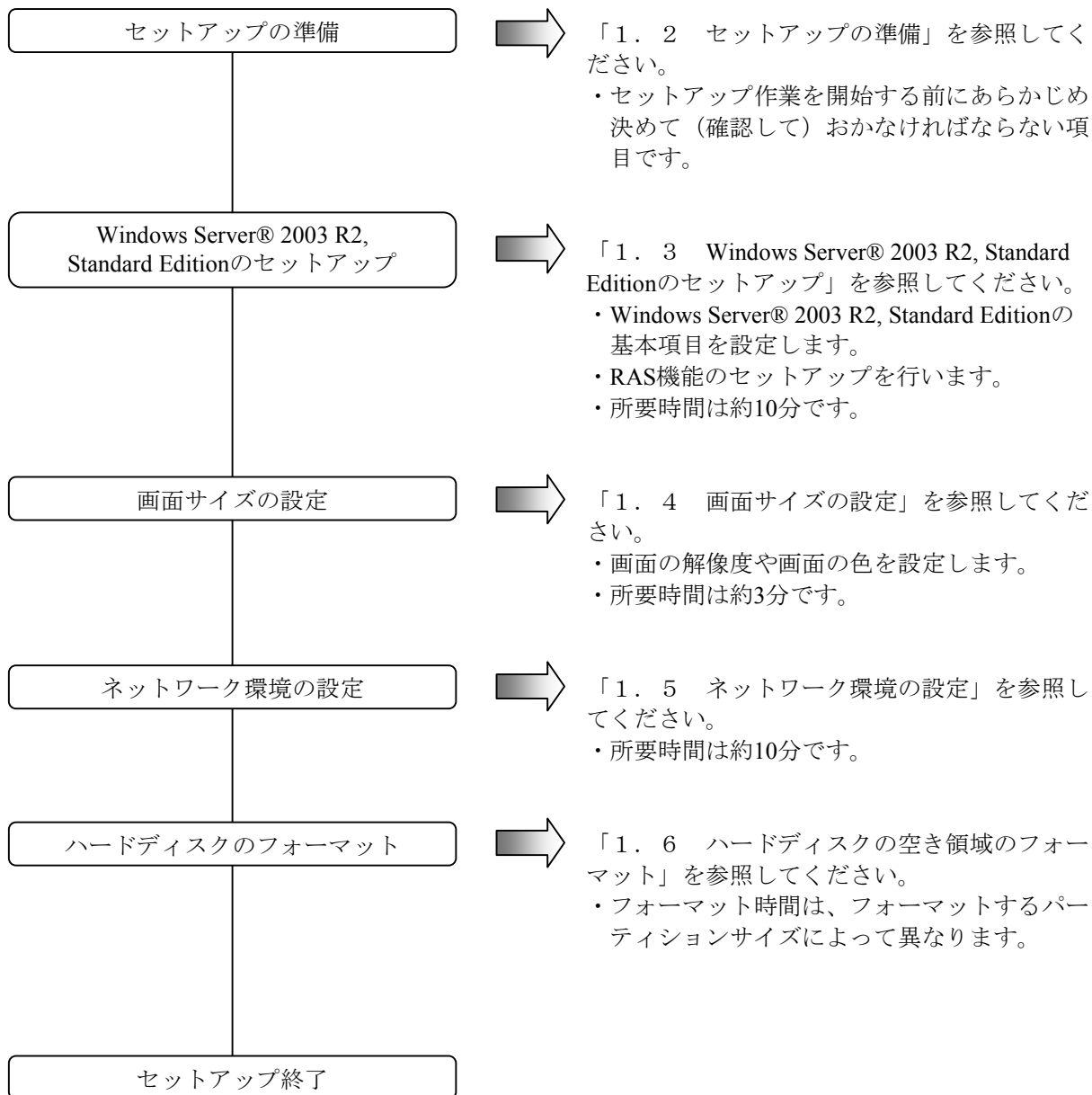
インストール：ソフトウェアをDVD-ROM、CD-ROM、フロッピーディスクからコンピュータのハードディスクに組み込むことです。

1. 1 セットアップ手順の概要

以下に、プレインストールされたMicrosoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのセットアップ手順を示します。

HF-Wに同梱のDVD-ROMを使用した新規セットアップ手順については、「第2章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順」を参照してください。

以下に設定の概略フローを示します。



1. 2 セットアップの準備

下記の項目は、セットアップ作業中に必要となる項目です。セットアップ作業を開始する前にあらかじめ決めて（確認して）おいてください。

項目	内容
名前	ライセンス契約者名 ・ライセンス登録する使用者名称です。設定後は変更できません。
組織名	ライセンス契約者の所属組織名 ・ライセンス登録する組織名です。設定後は変更できません。
ライセンス証書	HF-W本体にライセンス証書が貼り付いていることを確認してください。
コンピュータ名称	ネットワークでコンピュータを識別するための名称 ・ネットワーク内でコンピュータを識別するための名称です。ネットワークで固有な名称にしてください。 設定後に変更できます。
ネットワークアドレス	IPアドレスおよびサブネットマスク 設定後に変更できます。
ワークグループ名	複数のマシン間でグループ構成する場合の名称 (特に変更する必要がない場合は、デフォルト「WORKGROUP」のまま で可) 設定後に変更できます。
Administratorのパスワード	Administratorのパスワード 設定後に変更できます。

1. 3 Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのセットアップ

Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Editionをセットアップします。

(1) 基本環境の設定

以下の手順で基本環境を設定してください。

① コンピュータの電源を入れます。

Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのセットアップ画面が表示されます。その後しばらくすると、Windows Server® 2003 R2, Standard Editionセットアップウィザードの開始画面が表示されます。

・ [次へ] ボタンをクリックします。

② 地域と言語のオプション画面が表示されます。

・ 特にカスタマイズが必要ない場合は、何も変更しないで [次へ] ボタンをクリックします。

③ ソフトウェアの個人用設定画面が表示されます。ここで指定する名前と組織名は後で変更できませんので、事前に決めておいてください。

・ 名前と組織名を入力後、 [次へ] ボタンをクリックします。

④ コンピュータ名とAdministratorのパスワード画面が表示されます。

・ コンピュータ名には、接続するネットワークでコンピュータを識別するための固有な名前を入力します。

・ Administratorのパスワードを入力します。

・ [次へ] ボタンをクリックします。

⑤ 日付と時刻の設定画面が表示されます。

・ 日付と時刻を設定し [次へ] ボタンをクリックします。

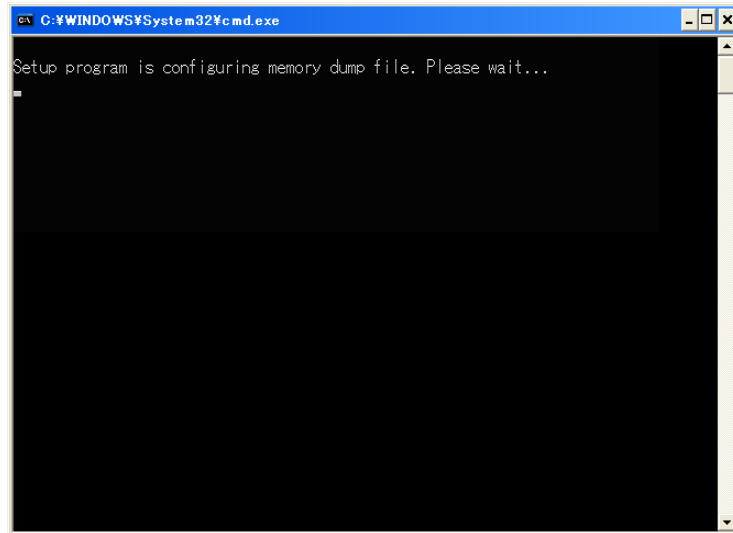
⑥ ネットワークの設定画面が表示されます。

・ 「標準設定」を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

・ ワークグループまたはドメイン名の設定画面が表示されますので、「このコンピュータはネットワーク上にないが、ドメインのないネットワークに接続している」を選択し、ワークグループ名を入力して（変更する必要がなければデフォルトのWORKGROUPのままでも可）

[次へ] ボタンをクリックします。

- ⑦ メモリダンプ領域確保のための処理が実行中であることを示す「Setup program is configuring memory dump file. Please wait...」のメッセージが表示されます。この処理には数分かかることがあります。画面が閉じるまでお待ちください。



その後、自動的に再起動します。

- ⑧ Windowsへようこそその画面が表示されます。
- ・ [Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
 - ・ Windowsへのログオン画面が表示されますので、Administratorのパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。
- ⑨ サーバの役割管理の画面が表示されます。
- 画面右上の [×] ボタンをクリックして画面を終了し、次ページ以降のセットアップを続行します。
- 次回起動時にこの画面を表示しない場合は、「ログオン時にこのページを表示しない」チェックボックスをオンにして画面右上の [×] ボタンをクリックして画面を終了します。

1. 4 画面サイズの設定

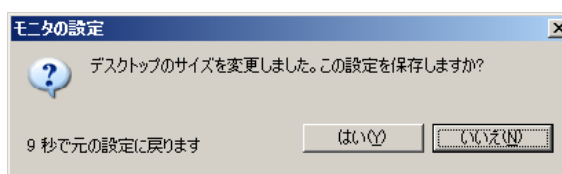
- ① コンピュータの管理者でログオンしていない場合には、コンピュータの管理者でログオンします。
- ② マウスマウスカーソルをデスクトップ上で右クリックしてポップアップメニューを表示し、[プロパティ] をクリックします。
- ③ [画面のプロパティ] 画面の [設定] タブをクリックします。



- ④ 画面の解像度および画面の色を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑤ [モニタの設定] 画面が表示されますので、この設定を保存する場合には [はい] ボタンをクリックしてください。設定しない場合には [いいえ] ボタンをクリックして再度設定してください。



1. 5 ネットワーク環境の設定

ローカルエリアネットワークの設定は、デフォルトではDHCPを使用する設定（「IPアドレスを自動的に取得する」）になっています。DHCPを使用しないでIPアドレスを設定する場合には、以下の手順で設定してください。

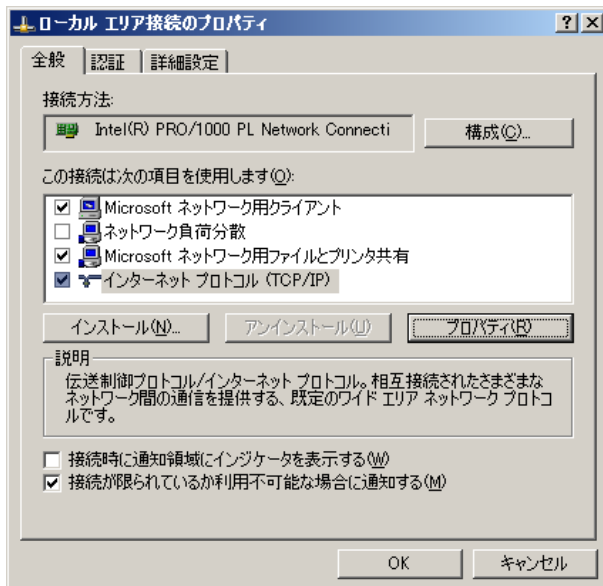
- ① コンピュータの管理者でログオンしていない場合には、コンピュータの管理者でログオンします。
- ② [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ネットワーク接続] をクリックします。
- ③ [ネットワーク接続] 画面が表示されます。
- ④ [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

留意事項

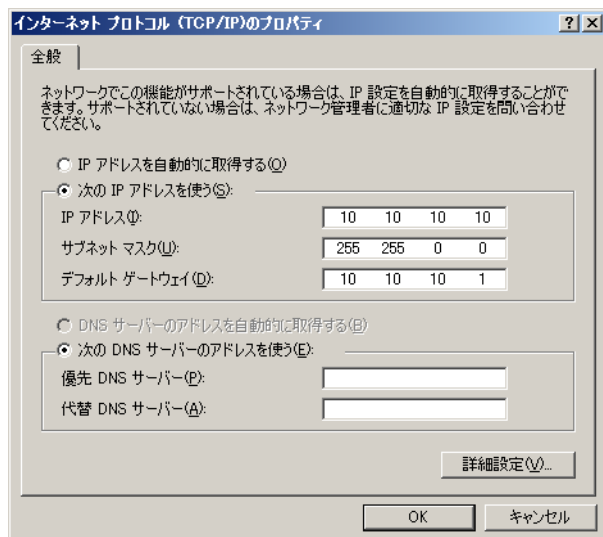
[ローカルエリアの接続] アイコンが複数ある場合には、以下の手順でアイコンとイーサアダプタのポートを対応付けてください。

- [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックし、[ローカルエリア接続の状態] 画面の [プロパティ] ボタンをクリックします。
 - [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面の [全般] タブをクリックします。
 - [構成] ボタンをクリックし、[プロパティ] 画面の [Link Speed] タブをクリックします。
 - [Identify Adapter] ボタンをクリックし、[Identify Adapter] 画面の [Start] ボタンをクリックします。
 - 選択した [ローカルエリアの接続] アイコンに対応したイーサアダプタのポートのLEDが点滅します。
-

- ⑤ [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。
- ・「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



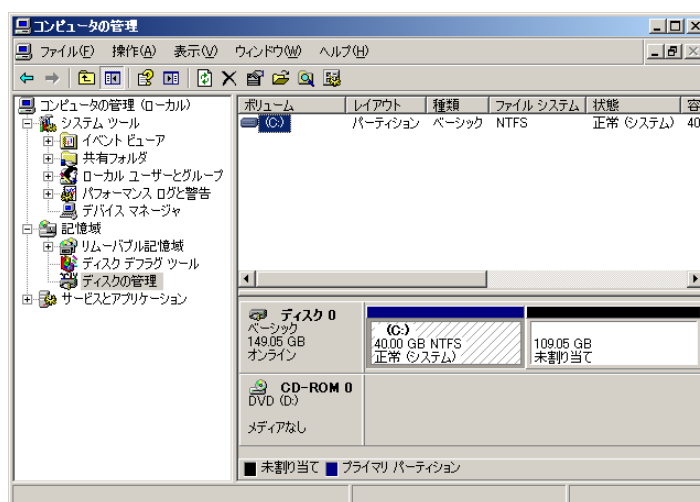
- ⑥ [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面が表示されます。
- ・「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
 - ・ [OK] ボタンをクリックします。



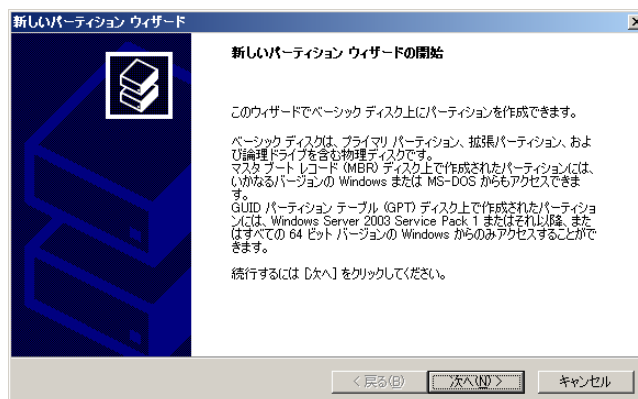
- ⑦ 開いている画面を閉じます。
- ・ [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面の [OK] ボタンをクリックします。
 - ・ [ネットワーク接続] 画面右上の [×] ボタンをクリックします。

1. 6 ハードディスクの空き領域のフォーマット

- ① コンピュータの管理者でログオンしていない場合には、コンピュータの管理者でログオンします。
- ② [スタート] ボタンをクリックし、[管理ツール] - [コンピュータの管理] をクリックします。
- ③ 「記憶域」の「ディスクの管理」をクリックします。

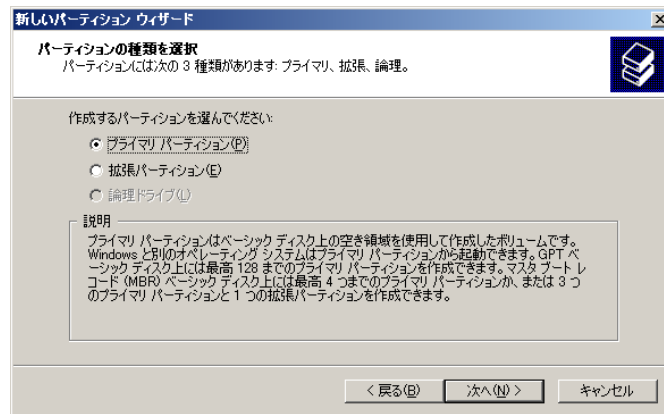


- ④ 「未割り当て」と表示されている部分でマウスを右クリックし、表示されたメニューから【新しいパーティション】をクリックします。新しいパーティションウィザードが起動されますので [次へ] ボタンをクリックします。

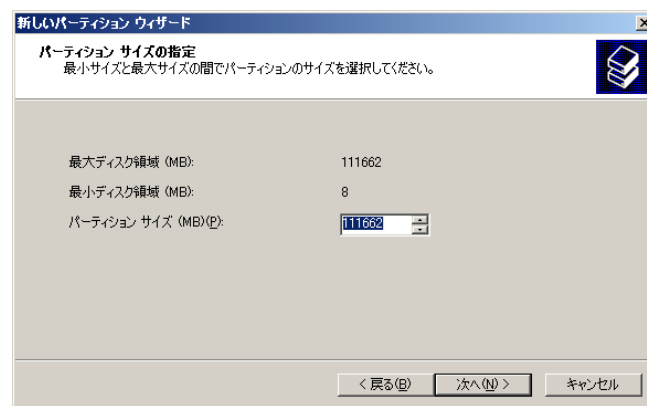


第 1 章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順

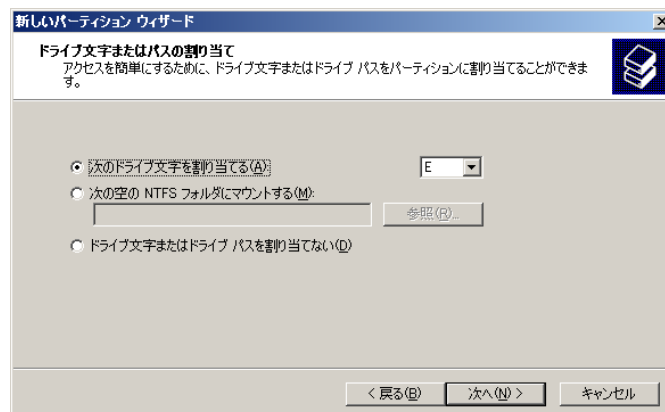
- ⑤ パーティションの種類を選択する画面が表示されますので、作成するパーティションの種類を選んで、**[次へ]** ボタンをクリックします。



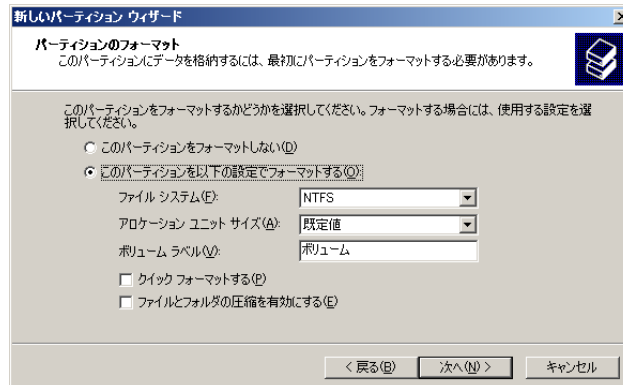
- ⑥ パーティションのサイズを指定する画面が表示されますので、任意のパーティションサイズを指定して、**[次へ]** ボタンをクリックします。



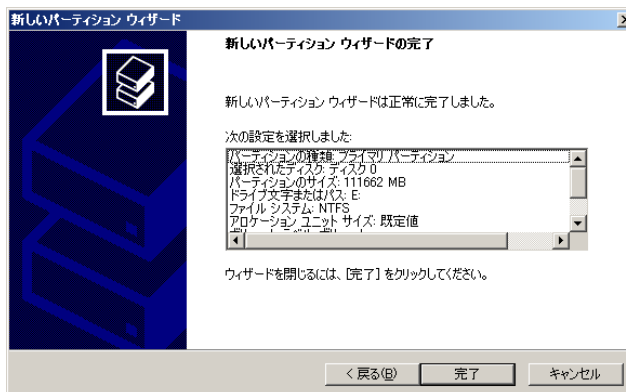
- ⑦ ドライブ文字またはパスの割り当てを行う画面が表示されますので、「次のドライブ文字を割り当てる」を選択してドライブ文字を割り当て（変更する必要がない場合は、デフォルトのままでも可）**[次へ]** ボタンをクリックします。



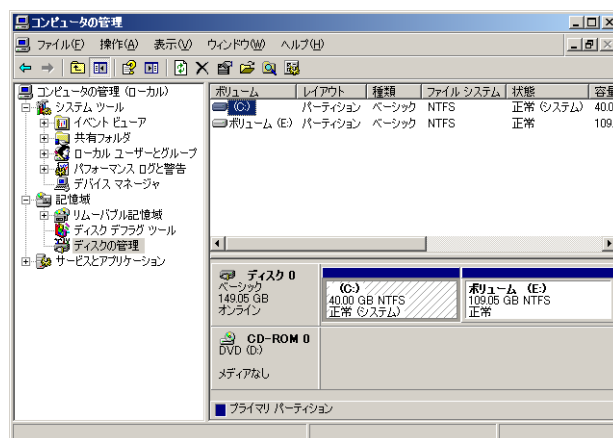
- ⑧ パーティションのフォーマット設定を行う画面が表示されますので、「ファイルシステム」を「NTFS」として [次へ] ボタンをクリックします。



- ⑨ 「新しいパーティションウィザードの完了」画面が表示されますので [完了] ボタンをクリックします。
- ・ディスクのフォーマットが始まります。



- ⑩ パーティションのフォーマットが完了すると作成したパーティションに「正常」と表示されます。



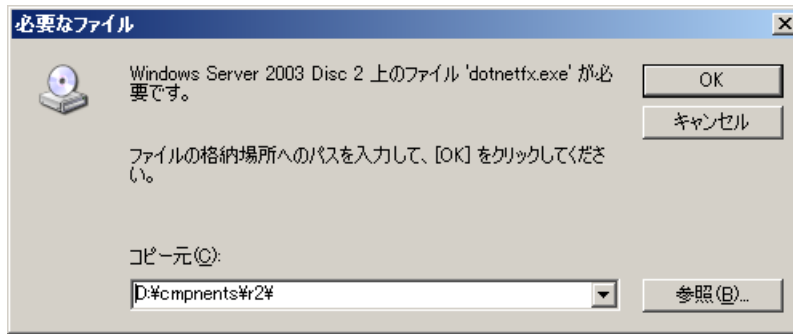
- ⑪ [コンピュータの管理] 画面右上の [×] ボタンをクリックして画面を終了します。
- ⑫ [管理ツール] 画面右上の [×] ボタンをクリックして画面を終了します。

1. 7 新しくコンポーネントを追加する場合の検索場所入力について

新しくコンポーネント（ネットワークのプロトコル、サービス、ドライバなど）を追加する場合、Windows Server® 2003 R2, Standard Editionファイルの検索場所の入力が必要となる場合があります。

検索場所の入力を促す画面が表示されますので、「コピー元：」に表示されているフォルダ名称を以下のように置き換えて [OK] ボタンをクリックしてください（下線部を置き換えてください）。

“D:\xxxx” → “C:\HITACHI\xxxx”



入力の画面が複数回表示される場合は、要求に応じてこの操作を繰り返してください。

第2章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

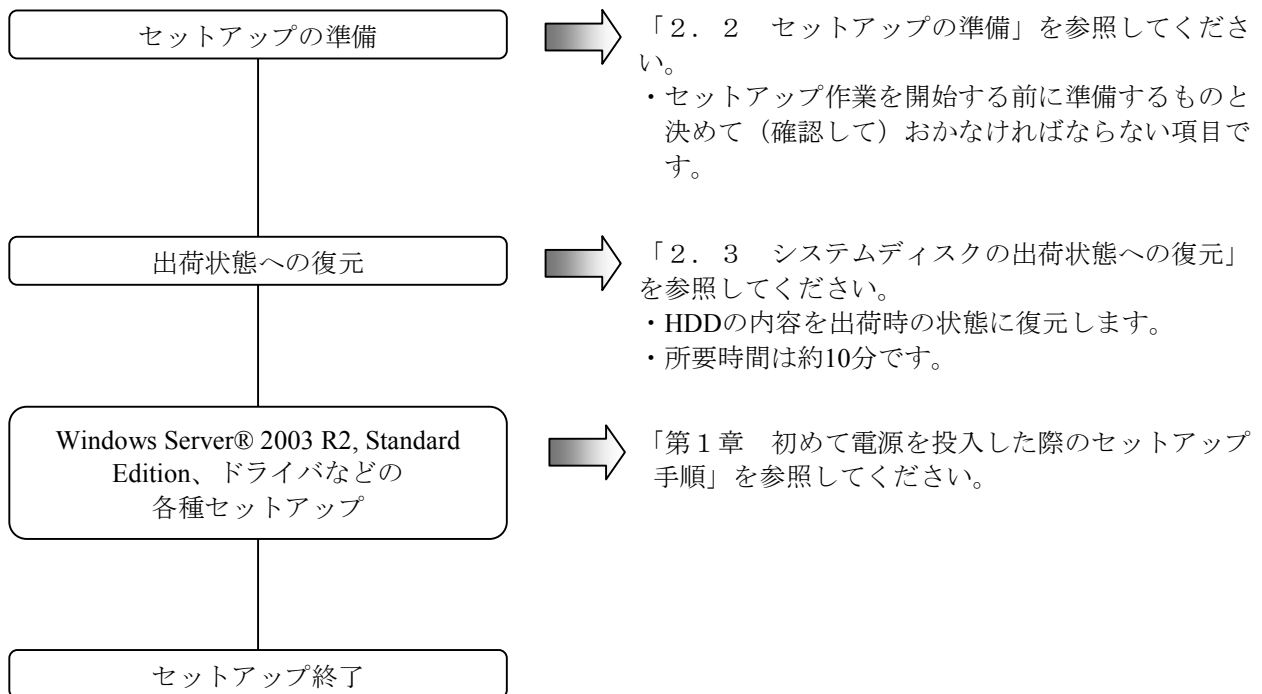
この章では、以下のセットアップ手順について説明します。

- ・構築してあるシステムを破棄して新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

2. 1 新規セットアップ手順の概要

この節では、現在構築してあるシステムを破棄して新規にシステムを構築する際の新規セットアップ手順の概要を説明します。リカバリDVD-ROMを使用してシステムディスク（HDDドライブベイ1に搭載されているHDD）の内容を出荷時の状態に復元した後は、「第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順」に記載の手順に従って、セットアップを実施してください。

以下にセットアップ手順の概略フローを示します。



留意事項

リカバリDVD-ROMは、出荷時のハードウェア構成で作成したイメージファイルを保存したDVD-ROMです。そのため、ハードウェア構成が出荷時と異なる場合、復元作業を行ってもオペレーティングシステムが正常に起動しない可能性があります。リカバリDVD-ROMを使用した復元は、外部記憶装置をすべて取り外し、出荷時のハードウェア構成で行うようにしてください。

また、リカバリDVD-ROMを使用した場合には**システムディスク（HDDドライブベイ1に搭載されているHDD）のすべてのデータが消去されます**ので、必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

留意事項

HF-W6500モデル35/30のAモデル（IDE-HDDモデル）において、HDDドライブベイ2にHDDが搭載された状態でリカバリDVD-ROMを使用して復旧作業を行った場合、DVDドライブのドライブ文字が出荷時と異なることがあります。

このような場合、必要に応じてセットアップ終了後にドライブ文字の変更を行ってください。

2. 2 セットアップの準備

下記の項目は、セットアップ作業中に必要となる項目です。セットアップ作業を開始する前にあらかじめ決めて（確認して）おいてください。

項目	内容
名前	ライセンス契約者名 ・ライセンス登録する使用者名称です。設定後は変更できません。
組織名	ライセンス契約者の所属組織名 ・ライセンス登録する組織名です。設定後は変更できません。
ライセンス証書	HF-W本体にライセンス証書が貼り付いていることを確認してください。
コンピュータ名称	ネットワークでコンピュータを識別するための名称 ・ネットワーク内でコンピュータを識別するための名称です。ネットワークで固有な名称にしてください。 設定後に変更できます。
ネットワークアドレス	IPアドレスおよびサブネットマスク 設定後に変更できます。
ワークグループ名	複数のマシン間でグループ構成する場合の名称 (特に変更する必要がない場合は、デフォルト「WORKGROUP」のまま で可) 設定後に変更できます。
Administratorのパスワード	Administratorのパスワード 設定後に変更できます。

下記は、セットアップ作業開始前にあらかじめ準備しておかなければならないソフトウェアです。これは、HF-Wに同梱していますので、セットアップ作業を開始する前に必ず準備してください。

HF-W専用リカバリ DVD-ROM	HITACHI <u>HJ-653x6ESJ</u> * Product Recovery DVD Containing Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition Embedded SP2 (下線部にはご購入頂いたHF-W6500モデル35/30の型式が記載されています。)
-----------------------	--

2. 3 システムディスクの出荷状態への復元

以下の手順に従い、リカバリDVD-ROMを使用してHF-W6500モデル35/30のシステムディスクを出荷時の状態に復元します。

- ① HF-Wの電源を入れ、HF-Wに同梱の「HITACHI HJ-653x6ESJ* Product Recovery DVD」をDVDドライブにセットします（下線部には、ご購入頂いたHF-W6500モデル35/30の型式が記載されています。以降の手順において同様の記載がされている部分に関しましては、ご購入のHF-W6500モデル35/30の型式に読み替えてください）。
- ② リカバリDVD-ROMから起動し、以下の認証メッセージが表示されます。

```
*****  
Confirmation  
"HITACHI HJ-653x6ESJ* Product Recovery DVD-ROM" is  
only used for HJ-653x6ESJ*.  
Is this computer HJ-653x6ESJ*?  
*****  
(Yes[y]/No[n]):
```

[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、認証が中断されます。電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n  
System recovery process is canceled.
```

- ③ [y] キーを押した場合は、HDD内容の復元開始の確認メッセージが表示されます。

```
*****  
Attention  
This recovery program deletes all personal data and  
your customized configuration settings. It resets  
HJ-653x6ESJ* to the factory-shipped default values.  
Be sure to back up your personal files before you use  
this DVD.  
*****  
continue?  
(Yes[y]/No[n]):
```


[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、認証が中断されます。
電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n
System recovery process is canceled.
```

- ④ [y] キーを押した場合は、HDD内容を復元するブートパーティション容量変更確認メッセージが表示されます。

```
*****
Attention

This recovery program deletes all personal data and
your customized configuration settings. It resets
HJ-653x6ESJ* to the factory-shipped default values.
Be sure to back up your personal files before you use
this DVD.

*****

continue?
(Yes[y]/No[n]):y

Do you change the size of boot partition?
In case of "No", it is set to the default size (NNN MB).
(Yes[y]/No[n]):
```

[n] キーを押した場合は、出荷時と同じ容量 (NNN MB) でブートパーティションを復元する確認メッセージが表示されます。

```
(Yes[y]/No[n]):n
Set the boot partition size to NNN MB.

Continue?
(Yes[y]/No[n]):
```

[y] キーを押すとHDD内容の復元が開始され、進捗状況が表示されます (⑥へ)。
[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、ブートパーティション容量変更が中断されます。電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n
System recovery process is canceled.
```

- ⑤ HDD内容を復元するブートパーティション容量変更確認メッセージ (④) で [y] キーを押した場合は、HDD内容を復元するブートパーティション容量入力メッセージが表示されます。

```
Do you change the size of boot partition?  
In case of "No", it is set to the default size (NNN MB).  
(Yes[y]/No[n]):y  
  
Input the size of boot partition by the megabyte[MB] and press  
ENTER.  
partition size(MIN-MAX[MB]):
```

入力可能な範囲の最小値 (MIN) と最大値 (MAX) を表示しますので、ブートパーティション容量をMB単位 (1MB=1,048,576バイト) で入力し、[Enter] キーを押します。ブートパーティション容量を入力すると、入力確認メッセージが表示されます。

```
partition size(MIN-MAX[MB]):20000  
  
Set the boot partition size to 20000 MB.  
  
Continue?  
(Yes[y]/No[n]):
```

[y] キーを押すとHDD内容の復元が開始され、進捗状況が表示されます (⑥へ)。
[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、ブートパーティション容量変更が中断されます。電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n  
  
System recovery process is canceled.
```

入力可能な範囲外の数値を入力した場合、以下のメッセージが表示されますので、数値を再入力します。

```
Input error.  
  
Input the size of boot partition by the megabyte[MB] and press  
ENTER.  
partition size(MIN-MAX[MB]):
```

- ⑥ [y] キーを押した場合は、HDD内容の復元が開始され、進捗状況が表示されます。

```
HJ-653x6ESJ* system recovery START.  
xx%
```

- ⑦ リカバリDVD-ROMによるHDD内容の復元がすべて完了すると、以下のメッセージが表示されます。リカバリDVD-ROMをDVDドライブから取り出します。

```
HJ-653x6ESJ* system recovery CONTINUE.  
100%  
COMPLETED.  
  
Remove "HITACHI HJ-653x6ESJ* Product Recovery DVD-ROM"  
from the DVD-ROM drive and restart HJ-653x6ESJ*.
```

- ⑧ 電源スイッチを押してHF-Wの電源を切り、再びHF-Wの電源スイッチを押して電源を入れます。

第2章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

2. 4 Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、ドライバなどの各種セットアップ

リカバリDVD-ROMによって、HF-W6500モデル35/30のシステムディスク（HDDドライブベイ1に搭載されているHDD）は出荷時の状態に復元されました。これ以降は「第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順」に記載の手順に従い、セットアップを実施してください。

第3章 注意事項

3. 1 第3者ブランド名での製品出荷について

機器に組み込むなどによって、この製品を弊社の装置名以外で販売される場合には、弊社に対し、その装置名の届け出をしていただく必要があります。なお、届け出は最終使用者への出荷開始後でもかまいません。弊社営業担当または弊社社員までご連絡ください。

3. 2 HITACHIディレクトリについて

この製品を最終使用者に提供する際は、HITACHIディレクトリおよびHITACHIディレクトリ以下のファイルを削除する必要があります。

以下の手順に従ってHITACHIディレクトリを削除してください。

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] – [コマンドプロンプト] をクリックします。
- ② コマンドプロンプトにおいて、以下を入力して [Enter] キーを押します。

```
rmdir /s C:\HITACHI
```

(注) HITACHIディレクトリを削除した後は、新しくWindowsコンポーネントを追加することができません。このディレクトリを削除する前に、必ず、必要とするすべてのコンポーネントを追加してください。